

## Handsome CONTENTS

### 巻頭記事 新年のご挨拶

#### 12月例会開催

今一度健康を考える～あなたの健康が会社の将来を左右します～

#### 12月例会担当リーダーの想い

U-35特別委員会 宮崎 大介 リーダー

#### 行列のできる法律相談所

「法律相談」 土地家屋調査士 牧田 継夫

#### 連載記事 ススメマスイ!

### 特集 業あり西部の躍動人

「洗練された技と心で安心できる仕事を保証します」

日成工業(有) 松尾 友雄

#### ショーバイ・商売

木村 正明OB(米子空港売店 BEEWING (櫛きさらぎ)

松田 幸紀会員(山陰海鮮炉端かば (櫛かばはうす))

#### 野球部 中海テレビ放送杯

連載 監事好評! 松江 智雄

#### 1月新年例会への想い

総務委員長 岩田 剛

発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 増井 幸一

編集責任者 / 担当 副会長 河津 慎二 制作・編集 35期広報委員会 / 委員長 小川 敦弘 印刷所 / 東京印刷(株)

Theme

Slogan

## 新年のご挨拶



鳥取県西部中小企業青年中央会  
第35期 会長

増井 幸一



鳥取県中小企業青年中央会  
県会長

山根 宏典

あけましておめでとうございます。

旧年中は、鳥取県中小企業団体中央会をはじめOB会の皆様、そして各関係機関及び会員所属企業ならびに御家族の皆様、様々な方に当会活動に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで当会は、35周年を迎えました。発足当時に生まれた会員が今の中央会の中心にいることを思えば、青年中央会の奥深さを感じます。

「業」をスローガンに掲げた今期は、あっという間に後期へと突入してまいります。一企業の努力だけではカバーしきれない世界的な流れの中にあって、あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面している中、私たちは夢に向かって動く事を忘れてはけません。各委員会とも委員長を中心に特色を出しながら「躍動人」としての活動をしてまいります。

社会貢献が本来務めとしてしなければ成らない事であり。誰かが喜び、満足するからこそ、事業として成り立ちます。まずは、活発に活動して行けばその結果は必ず出るはずで。今現在のこの青年中央会が、青年経済人の学びの場であるのは、諸先輩方が活発な活動を過去に行って来られた証拠であるのだと思います。だからこそ私たちは、今年も未来の良好のために生き生きと活動していかなくてはならないと思います。

35周年事業の準備もスパートをかける時が来ました。「躍動」をテーマに「皆様に喜んで頂く」という基本に立ちかえて、活発に、ひとつずつ、全員で取り組んで参りたいと存じます。

本年も変わらぬお引き立てご理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

皆様、明けましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願いします。

さて、昨年はいろいろな出来事があった年でございました。春には野球日本代表がWBCの世界2連覇、夏には民主党等による政権交代、そして経済では一昨年のリーマンショックから始まった世界大不況の長期化、等非常に目まぐるしく変化に跳んだ一年だった様に思います。

我々県青年中央会では、今年2月に35周年記念事業を行います。中央会も35周年を迎え、「時代に挑み、次代を創る」という県スローガンをより一層強く出して行かなければならないと思っている次第です。

また、本年度のテーマは「誠の理(まことのことわり)」であります。中央会会員は会の運営において、自分の仕事だけすれば良いという考えではなく、周りの会員同士にも気を配って自分の力以上の事が出来るように精進してほしいと言う願いと、東部・中部・西部の中央会を一つにしたいと言う想いから創ったテーマです。

私の任期もあと半年になりましたが、この心は行く末永く継承していただきたいと願っております。また今年の経済状況はデフレと言われていますが、中央会魂を出しデフレを吹っ飛ばすんだ!という心を持って頂きたいと思います。そして、鳥取県中小企業青年中央会の誇りと自律心を忘れず精進し、会員の所属企業のさらなる発展とをご祈念申し上げます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

# 12月例会開催

「今一度健康を考える

～あなたの健康が会社の将来を左右します～」

平成21年12月15日(火)ふれあいの里にて12月例会が開催された。今回は35年間の中央会初の35周年にちなんで35歳以下の会員が選出されたU-35特別委員会担当の例会であった。

冒頭の会長挨拶では「今日ここに来てうれしかったのは弁当に“ウコンの力”が付いていたこと。12月は飲む機会が増えているので健康を気遣った今回のテーマに合った例会らしい



いい考えでした。」と「仕事でも何でもやらされているという感覚をなくして欲しい」、「感謝の気持ちをもって欲しい」と2つのことを語られた。



委員長タイムはビジネス委員長田委員長で肩甲骨の重要性について語られた。肩甲骨と骨盤が連動していること、肩甲骨を動かすことによって体調管理になることなどを説明

された後、実際に会員全員で肩甲骨を動かすストレッチをして終わった。

続いて今月からトライアスロンタイムが始まり、第30回記念大会実行委員長水直前会長が「各部長が選任され“オール中央会”を合言葉に記念大会を盛り上げたい。7月18日は皆さん今からトライアスロンお願いします。」と言われ、AS部長松本誠二会員、マラソン部長桑本功一会員、ボランティア部長土岐哲己会員の3名が紹介され、それぞれ今回の部長としての想いを語られた。

そして本日の例会主旨説明が宮崎リーダーからあった後、健康を考えるにあたって6つの質問コーナーから始まる予定がいきなりプロジェクタートラブル発生!! 司会の藤本会員が上手くこの危機を乗り切って再スタート。質問は会員の日常生活



における悪習慣(タバコ、飲酒、運動不足など)を爆笑映像を写しながら鋭く突き、この後の内容に結びつけるものであった。本日のメイン、越智内科医院 越智先生を教授、松田会員を助教授として健康について講義が始まり、先ほどの質問の回答から導かれる生活習慣病について説明があった。その後3名の会員の健康診断結果から各自の健康状態を詳しく分析していただき、その間会場の会員は笑いがあがりながら他人事ではないという思いが顔から出ていた。



後半は越智先生から生活習慣病について詳しい説明、改善方法が約30分あり、まとめは「今は良くとも10年先を考えよう」と多数の会員が胸に突き刺さるような言葉で締めくくられた。会場は普段見られない会員の真剣な表情が印象的だった。(記事:景山)

## 12月例会担当

### U-35特別委員会リーダーの想い



U-35特別委員会  
宮崎大介 リーダー

今年度、12月例会は例年の忘年例会とは違い、35歳以下の会員で企画運営し、お酒を一切飲まない例会を行いました。健康という大きな軸を元に「今一度健康を考える～あなたの健康が会社の将来を左右します～」と題し、もう一度健康について考えてもらい、健康を害してからでは遅い、ということを再認識してもらうため、この忘年会シーズンだからこそあえてこのテーマとさせていただきます。日頃から、健康について

は皆さん意識はある程度持っておられるとは思いますが、実際に症状が出ていない限りは、やはり現実味が沸かないのも事実だと思います。とりわけ、生活習慣病といわれるものは、40代を超えてから急激に加速するというデータもあります。こと中央会の会員の皆様に関しても、卒会されてから、または卒会近くなって急激に体調を崩される方を多く見かけてきました。

この例会で少しでも、今が健康であることが、将来の健康が約束されているのではないということを再認識して頂き、少しでも事前に準備をするきっかけになってもらえれば嬉しいです。

## 1月新年例会「新年賀詞交歓会」への想い

総務委員長 岩田 剛

新年明けましておめでとうございます。例年は12月に忘年例会として開催しておりましたが、第35期は「新年賀詞交歓会」として、来る1月18日(月)に米子全日空ホテルにて1月新年例会を開催いたします。2008年秋のリーマンショック以降の金

## 業あり 西部の躍動人

洗練された技と心で安心できる仕事を保証します

日成工業(有) 松尾 友雄 (中央会会員)



弊社は、配管工事・機械据付、移送・溶接加工・曲げ加工・空調関係据付及び配管と幅広い事業を展開しています。

主に王子製紙(株)米子工場内の機械設備の据付及び補修工事を行っています。その他にも公共施設、民間でも同様な仕事をさせて頂いています。

私達の技術は、特殊技術で特に溶接加工(TIG溶接)に関しては山陰でもトップクラスの自信があります。溶接に限らず色々な事が手がけています。是非一度、「こんなの出来ない?」と気軽に声を掛けて下さい。行動力ある営業で必ず役に立てると思います。



「日々に成す 明日めざし創る これ我社悠久の基なり」この社のもと社員全員で色々と取組みを行っています。今後も宜しくお願いします。

お問合せ 日成工業(有) 西伯郡日吉津村日吉津71 ☎27-2712

融不安に伴い閉塞感のある経済状況で推移した2009年も終わり、いよいよ2010年がスタートいたします。新年を迎え、新しい目標を立てられた方も多数おられると思います。その新しい年の始まりを『躍動』する気持ちで皆様と迎えたいと考えています。どうぞ派手な色のネクタイ着用の上、ご出席下さい。ちなみに私は『真っ赤な勝負ネクタイ』でホストさせて頂きます。来賓、OB会員様をはじめ、多数のご出席をお待ちしております。

## 野球部 中海テレビ放送杯



平成21年11月8日(日)西伯カントリーパーク野球場にて、中海テレビ放送杯野球大会1回戦が行われた。対戦相手は5年ほど前に25-0で敗戦したチーム。そんなくじ運の悪さを吹き飛ばすように、初回から打線が火を吹き2点を先制。途中一度追いつかれたが、今大会敢闘賞を受賞した織戸会員のタイムリーなどで突き放し4-2で勝利。準々決勝も打線が火を吹き、エース松尾会員の貫禄の投球で、9-0での大勝利。

必勝を誓い、12月6日(日)の準決勝に望んだ。思いの強さが体に余計な力が入ったのか動きが固く、序盤に4点を失う。6回に1アウト満塁のチャンスになったが、後1本が出ず、結果は4-0での敗戦でした。

寒い中、多くの会員の方々やOBの方々に応援頂き、3位入賞することが出来ました。本当にありがとうございました。

来年は優勝目指してがんばります!!皆様応援よろしくをお願いします。

(記事:松田)

## ショーバイ・商売

木村 正明OB(米子空港売店 BEEWING 株式会社) 榎きさらぎ  
松田 幸紀会員(山陰海鮮炉端かば 株式会社) 榎かばはうす

### ～山陰発全国へ!～

今回は、米子空港のリニューアルグランドオープンに伴い新規出店された米子空港売店 BEEWING(榎きさらぎ)と山陰海鮮炉端かば(榎かばはうす)を取材してきました。

#### 《米子空港売店 BEEWING》

まず榎きさらぎ本社へ木村OBを訪ね、出店に際しての想いを伺いました。

「土産物専門ということで、今までとカテゴリーが違い、興味があった。ターミナルに店を持てるチャンスはそうないから、チャンスを有効に活用したかったんだ。

ただの鳥取の土産物屋ではない、県境を超えた米子空港を中心とした土産物がここにすれば大体あるようにしたいね。



ただ、出店に際し地元商品の売込み営業が少なく、もっと拡販に貪欲になってほしいのという今後の課題もいただきました。

店舗はすっきりとしたデザインと分かりやすい商品の配置で、出発前の短い時間の中で欲しい物が探せるよう配慮されていました。

その中でも一押しは、直販ではなかなか買えない長岡屋茂助のあごす巻と、米子でしか買えない米吾の吾左衛門鮓、そして地元境港のいかの醤油漬! 出発のお土産だけでなく、仕事のお客様や帰郷した家族へのお土産にいかがですか?

営業時間 6:30～19:45 (記事:桑本)



うちでは、店舗のイメージだけ伝えて、実際の商品展示等店舗のことはできるだけ店のスタッフに任せてみんなで考えてもらっているんだ。上意下達では人が育たないからね」と、木村社長から一歩先を見据えた店舗経営ビジョンをお話いただきました。



#### 《炉端かば》

場所を変え、2店舗挟んだANA FESTA横の炉端かばに松田会員を訪ねました。

「ターミナル店として難しい部分もありますが、東京へも出店している直営居酒屋チェーンとして、山陰と都会とのかけはしとなる店舗を目指しています。

大型空港はアミューズメント化が進んでおり、その波は地方空港にも確実に訪れます。今までただの空港としての機能しかなかったし、



ちょっと飲んで食べられる店がありませんでしたから」と、新店舗に賭ける期待をお話いただきました。多店舗運営されている松田社長。「店のカラーは自分が決め、内容はマネージャーや店長に任せる」方針だそうです。

東京と山陰両県で18店舗(関連合)を展開する炉端かば。地域に密着した魚を中心として、安くてうまい、元気がいいと評判の炉端かばですが、空港店にもその志は受け継がれています。山陰をアピールしたポスターと額装、テーブルもとろ箱をイメージした目立つもの。夕方便で到着したお客様を濃い山陰らしさが迎えます。

一押しは、直販はここだけという「世界の山ちゃん 幻の手羽先シリーズ」。山ちゃんに認められたというのも驚きです。

昼間はレストランとしてランチも充実しています。こちら、空港利用者だけでなく地元の方や自衛隊の方の利用も期待しているそうです。境港での飲食はぜひかばへ!

営業時間 6:00～22:00

楽天ネットショップもあります。

(記事:桑本)



ちょっと飲んで食べられる店がありませんでしたから」と、新店舗に賭ける期待をお話いただきました。

多店舗運営されている松田社長。「店のカラーは自分が決め、内容はマネージャーや店長に任せる」方針だそうです。

東京と山陰両県で18店舗(関連合)を展開する炉端かば。地域に密着した魚を中心として、安くてうまい、元気がいいと評判の炉端かばですが、空港店にもその志は受け継がれています。山陰をアピールしたポスターと額装、テーブルもとろ箱をイメージした目立つもの。夕方便で到着したお客様を濃い山陰らしさが迎えます。

一押しは、直販はここだけという「世界の山ちゃん 幻の手羽先シリーズ」。山ちゃんに認められたというのも驚きです。

昼間はレストランとしてランチも充実しています。こちら、空港利用者だけでなく地元の方や自衛隊の方の利用も期待しているそうです。境港での飲食はぜひかばへ!

営業時間 6:00～22:00

楽天ネットショップもあります。

(記事:桑本)

(記事:桑本)

## 委員会訪問

～自然文化発掘委員会～



須山委員長の元、自然文化発掘委員会は、委員会名に忠実にこの上半期を活動して来ました。地元の文化の一つである大山をテーマにして、実際に委員会で大山寺を訪ねました。自らの足で歩いて目で見て、話を聞いて、その昔にこの地であった歴史に触れることが出来ました。それは、本にも書いていない、また実際に目で見ないと伝わってこない、そんな貴重な体験の出来た委員会でした。別の委員会では、講師先生を招いてさらに大山とそれをとりまく山陰の歴史を詳しく講演をしていただきました。ここまで読まれた方は、真面目で硬い委員会だと思われるかもしれませんが、そんなことはありません。また別の委員会

は、朝早くから集合して大山の山奥にキノコ狩りに行ったりもしました。その後は、収穫したキノコをなめこ汁にして、パーベキューで秋の味覚を楽しんだりもしました。個人的に今でも委員長の作られた、あのなめこ汁の味が忘れられません。そんなこんなで、まさに地元の自然と文化をテーマに活動をして来た私達は、皆様にも地元の歴史に触れてもらおうと2月の担当例会の成功に向けて、力を合わせて頑張っています。

\*今月は委員会スケジュールの都合上、取材ではなく原稿を依頼させていただきました。

(記事:自然文化発掘委員会副委員長:谷口)

## 行列のできる 法律相談所

### 『法律相談』

土地家屋調査士 牧田 継夫  
(中央会会員)

土地家屋調査士が知らないといけない法律は少なくないのだが、日常業務で取り扱う法律は狭小である。不動産を扱う専門家として少し呟いてみたい。

不動産は色々な顔を持っている。立地条件や周りの環境などによって最適な利用方法があるだろうし、ただ持っているだけでなく運用して価値を上げ、利益を生ませることも考えられる。逆に、利益は生まないものの、一日の疲れを癒し、安らぎの場として存在する不動産もある。

土地家屋調査士は、簡単に言えば不動産の現状を登記することが業である。誰もが日常で縁している土地・建物がその対象である。建物は所在、種類、構造、床面積などを登記すれば立派な物件となるのだが、土地は少し奥が深い。土地は基本的に無くしたり、造ったり、動かすことができないからだ。

通常土地は所在・地番・地目・地積が登記されているが、その土地

の境界はどこなのか？境界標はあるのか？どんな境界標が設置されているのか？境界標が見当たらなくなった場合、同じポイントに復元可能か？まで公示してある土地は少ない。皆さんが所有する土地の「地積測量図」を法務局で取得し確認してみたい。平成7年以降作成の図面はそれなり、平成19年4月以降の図面は境界標がきちんと明示され復元性も高い。平成7年以前の図面は辺長がチェックできる。地域によっては、米子市が測量成果を管理している場合がある。土地の境界を明確に登記することは、安心・安全な「商品」として公示するメリットを持っている。また、境界の紛争が起こった場合には、法務局が保管する貴重な資料となる。それゆえ、業として隣接地所有者との境界確認の際には慎重を期するし、取得可能な限りの資料を精査するし、その土地と永久にお付き合いする覚悟もする。頂く報酬も決して安くはない。境界は、土地の商品価値を上げるための一つの手段だと考えている。経験上、境界を確認したらすぐに、境界標を残しつつブロック塀や構造物を造ってしまうことをお勧めしたい。また、争いの少ない土地の所有者は「相隣関係が上手くいっている」場合が多い。境界は「杭を残して、悔いを残さず」。万が一、境界の紛争に巻き込まれた場合は、「境界問題相談センター」と「とり」に相談してみても？

## ススメアマイ!



U-35特別委員会の皆様、大変ありがとうございました。短い準備期間で大変でした。それにもかかわらず、宮崎リーダーを中心に良くまとめあげられたと思います。懇親会での盛り上がりや他の会員皆様の答えなんだと思います。

U-35の皆さんもいろいろ気を付かれたと思います。どんないい例会でも、良かった良かっただけでは自身のためにはならないと言う事です。それぞれで感じた事を語り合い、次につなげていきましょう。

次の大舞台は35周年事業です。岩田実行委員長(^^)、頼もしい仲間が増えました。

やれる！です。

(会長 増井幸一)

## 監事好評!

監事が三人しかいないのだから、三ヶ月に一度はこの役目が回ってくるのはあたり前なのだが、もうまわってきたのか、という気持ちです。しかし時のたつのは早いです。今年度も半分終わりました。委員長をした年度を思い出します。

はじまったばかりの頃はあれをしたい、これもしたいと考えていて、委員会のメンバーの助けもあり沢山の活動をしてきました。しかし自分のなかで次第に本当にしたいことが何なのかわからなくなり、かなりまいりました。さらに担当例会が終わった後に自分だけが変な達成感に酔いしれてしまって、気が付くと残りの期間もわずか。本当にメンバーのみんなには迷惑をかけてしまいました。

この失敗は「中央会」だから許されること(かな?)。自分の商売だったら、かなりまずいことになっていたでしょう。

何が言いたいかということ、中央会は、自己研鑽のひとつの場であるということ。やりたいことをおもいきってやりましょう。必ず自社の成功に生きてきますから。まちがいない!

(記事:松江監事)

## 12月度委員会報告

### 地域ビジョン委員会

平成21年12月5日(土)於:日吉津村海浜運動公園 出席者/13名  
議題/・11月担当例会反省について ・半期の反省、まとめ  
・後半の活動について

### 政治行政委員会

平成21年12月11日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名  
議題/・田村耕太郎氏を招いての勉強会 ・上期の反省

### ビジネス委員会

平成21年12月9日(水)於:松江鮮魚店 出席者/12名  
議題/・会員企業発展手法について

### 自然文化発掘委員会

平成21年12月4日(金)於:食酒処 ひさ 出席者/9名  
議題/・2月担当例会打合せについて

### 広報委員会

平成21年12月7日(月)於:海潮園 出席者/14名  
議題/・ハンサム、ホームページについて  
・35周年記念誌について

### 総務委員会

平成21年12月10日(木)於:海潮園 出席者/14名  
議題/・1月担当新年例会について  
・会員拡大について

### 編集後記

2010年、いよいよ新しい年となりました。今年は西部青年中央会設立35周年記念事業の年であります。35年前、地元若手経済人たちが集い、「地域のために何かできることはないか」という想いでスタートした当会。周年事業を期に、「初心」の想いを見つめ直してみるのもいいのではと思います。地元経済は、「不景気の風」が吹いていますが、こんなときこそ自分たちの力で「新しい風」を起すような気迫と情熱でがんばっていききたいものです。本年も会員みなさまにとって良い1年でありますようにご祈念いたします。(記事:本池)

### 1月役員会報告

1月役員会が平成22年1月5日(火)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

・12月例会報告の件 ・1月新年例会開催の件 ・その他  
※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

### 1月新年例会のご案内

と き:平成22年1月18日(月) 18:30~  
と ころ:米子全日空ホテル 飛鳥の間  
内 容:1月新年例会「新年賀詞交歓会」  
担 当:総務委員会